

## ばくぜんと考えていた“食品業界”の中、 多くの講座やアドバイスを通して希望企業に内定。

1年次に問題解決型チャレンジプログラムに参加したことがきっかけでキャリアセンターの個別相談を利用するようになりました。2年次で、就職活動の進め方を知ることができ、勧められた各種講座や企業のワンデイセミナー等に参加することもできました。

カナダへの短期留学を経て、3年次にはSPI※準備講座、模擬面接会等にも参加し、インターンシップも経験。インターンシップは、希望だった食品業界ではなく、様々な業種を経験したほうが良いとのアドバイスから、別業種としましたが、これにより、自分が食品業界、食品メーカーを希望する理由が明確になりました。

希望の職種に対する思いが強くなりすぎ、自分を見失いそうになった時の「選ばれるのではなく、自分で選ぶ」というアドバイスは、自分自身を見つめ直す良いきっかけになりました。

就職先は「桃屋」。子どものころから親しみのあるメーカーで、3年次の冬にインターンシップに参加し、志望をするようになりました。就職後は営業職で様々な経験を積み、いずれは製品のプロモーションなど広く携わりたいと思っています。

※多くの企業の採用選考で利用されている適性検査

### 松本さんの就職活動アドバイス

- 早い時期から個別相談を通して情報収集し、就活の進め方を理解しておくことスムーズ
- 志望以外の業界も広く見ることで、本当にやりたいことが見つかる
- 模擬面接をどんどん活用しておけば本番でも臨機応変な対応ができる



商学部  
マーケティング学科4年  
松本 麻里さん  
神奈川・聖和学院高校出身